

9月8日（月） 2025年度秋季リーグ戦第2節2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
奈学大	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
阪公大	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2

奈良学園大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	遊	本間	4	奈良大学附属	4	3	1	
	走	中條	1	上宮	0	0	0	
	遊	西	2	東京成徳大学	0	0	0	
2	二	河原	4	奈良大学附属	4	0	0	
3	左	森	3	市立和歌山	5	2	2	
4	一	松林	4	履正社	4	2	0	
5	中	吉岡	4	星稜	4	1	0	
6	指	石井	3	八戸学院光星	3	0	0	
	打指	門野	2	中京	1	0	0	
	打指	丸本	3	上宮	1	0	0	
7	捕	守	4	下関国際	2	1	0	
8	三	北峯	3	奈良大学附属	3	0	0	
9	右	米井	3	大阪商業大学堺	2	0	0	
	打	西浦	2	大阪学院大学	0	0	0	
	走右	中田	2	上宮	0	0	0	
投		片岡	2	和歌山南陵	-	-	-	
		溝部	2	神戸国際	-	-	-	
		近藤	3	履正社	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	3	7	2	1	0	33	9	3

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	3	府立生野	3	1	0	
2	遊	疋田	4	広島新庄	3	1	1	
3	指	菱田	2	関西大倉	4	0	0	
4	捕	小田竜	4	県立伊丹	4	0	0	
5	左	林	2	大阪明星	4	1	0	
6	一	大西	4	長田	3	1	0	
7	三	田中大	2	彦根東	3	1	0	
8	右	野田	2	須磨学園	4	0	0	
9	二	樋口	4	刈谷	4	1	0	
投		利川	2	西大和学園	-	-	-	
		宮田	2	倉敷青陵	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	6	3	1	1	0	32	6	1

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
片岡	4 2/3	75	20	16	4	3	3	2	2
溝部	2	28	7	7	1	1	0	0	0
近藤	2 1/3	30	9	9	1	2	0	0	0
合計	9	133	36	32	6	6	3	2	2

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
利川	6	95	27	21	5	1	5	1	1
宮田	3	52	15	12	4	2	2	2	2
合計	9	147	42	33	9	3	7	3	3

【戦評】

敗戦の流れを断ち切るべく、とにかく「勝利」にこだわり、3戦目につなげようと全力で挑みました。

本日の先発は、リーグ戦初先発となる利川（経2・西大和学園）。いきなり樋口（工4・刈谷）が好守で魅せるなど、テンポ良くアウトを取り三者凡退。わずか8球で終える順調の立ち上がりとなります。

一方の先制点を狙う攻撃は初回、先頭の根来（経3・府立生野）が左中間を破る二塁打を放ちます。さらに疋田（工4・広島新庄）も内野安打を放ち無死一三塁。続く菱田（農2・関西大倉）の内野ゴロの間に、幸先良く1点を先制します。

2回以降、利川は走者を背負うものの、要所を締めて得点を与えません。3回には捕手小田竜（工4・県立伊丹）が盗塁を刺すなど、味方の堅い守備もあり4回まで無失点とします。

しかし5回表、先頭打者に安打を許すと、その後四球を与え一死一二塁。続く打者に適時打を浴び、1点を返されます。

すぐさま反撃したい攻撃はその裏、先頭の大西（法4・長田）が四球で出塁すると、田中大（経2・彦根東）の犠打で二塁へ進みます。さらに、樋口が安打を放ち二死一三塁のチャンス。ここから根来、疋田が四球をもぎ取り、押し出しで1点を追加。勝ち越しに成功します。

わずかなリードを守り切りたい後半戦、6回も利川がマウンドに上がります。先頭打者に安打を浴びると、二死を奪い取った後連続で四球を与え、二死満塁の大ピンチ。しかし、落ち着いて後を打ち取り、先発としての役目をしっかりと果たします。

7回からは宮田（工2・倉敷青陵）が登板。先頭打者に出塁を許しますが、野田（現2・須磨学園）の好守が光ります。さらに、一打同点のピンチで迎えた4番打者から三振を奪い取るなど、気迫のこもる投球で無失点に抑えます。

一方、リードを広げたい攻撃ですが、代わった相手投手に苦戦を強いられます。7回には田中大、8回には林（工2・大阪明星）が安打を放ち得点圏へと進みますが、あと一本が出ず追加点を挙げることができません。

1点リードで迎えた最終回。わずかな点差を守り切りたいところでしたが、先頭打者に死球を与えると、その後安打や犠打で一死二三塁のピンチを背負います。そして、適時打を浴び2点追加され、逆転を許してしまいます。

9回裏、なんとしてでも得点を挙げようと積極的に攻めます。しかし、出塁すらできず三者凡退で試合終了。2－3で敗戦いたしました。